

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2020
12

今月の社長

24時間営業ははじめます。



まずは年末のご挨拶

[LINK ▶ 動画\(30秒\) https://youtu.be/XI8cpoKpVY0](https://youtu.be/XI8cpoKpVY0)

年の瀬っぽい振り返り※はスキップし、ひたすら前進あるのみ。岡畑興産は、“3倍コミュニケーション”を軽く飛び超え、24時間営業ははじめます！

※社内的には、12月恒例の“社長ポジティブ反省会”をzoomでやりました

労使大丈夫って声が聞こえそうですが(笑)、クライフの「ボールを動かせ(ボールは疲れない)」ならぬ「コンテンツを動かせ」。**オンライン・コンテンツに24時間、営業してもらいます！**

まずは、靴受託の営業から。まだ見ぬお客様、ブランドオーナーさまに、オリジナルシューズ作ってみようかなと思ってもらおうと、プロモ動画とインタビュー記事で準備。サクッと観られる予告編ですので、ぜひ！

■ プロモ動画(30秒予告編)：

靴という名の道具、そのこだわりを形に。

[LINK▶ Youtube](#)

■ インタビュー記事：

ブランドオーナーさまによる、開発秘話と生の声

[LINK▶ 岡畑の熱い人々](#)

ケミマテ2020から始まった弊社化学品の“コンテンツ祭り”。次のお祭りは、5月のCITE Japan2021。オンライン・リアルの同時開催を想定し、既にカウントダウンと仕込みを始めていますので、乞うご期待！

ONLは皆さんの**メアドに“セイハロー”**な定期ご挨拶。今後は、動画も上手く取り込みながら、新しい技術や素材紹介など、**何か新しい事できるかも**っていう、イノベーションのスイッチ、きっかけになれる様、進化を続けます！

2021年の岡畑興産も、こんなトーンで、面白い仕事と面白い人たちが集まる専門商社を目指します。伸び代だけは自信あり(おいおい)、引き続き、温かい目で見守っていただければ、幸いです。皆さん、良いお年を！

ケミマテの“学びと次“

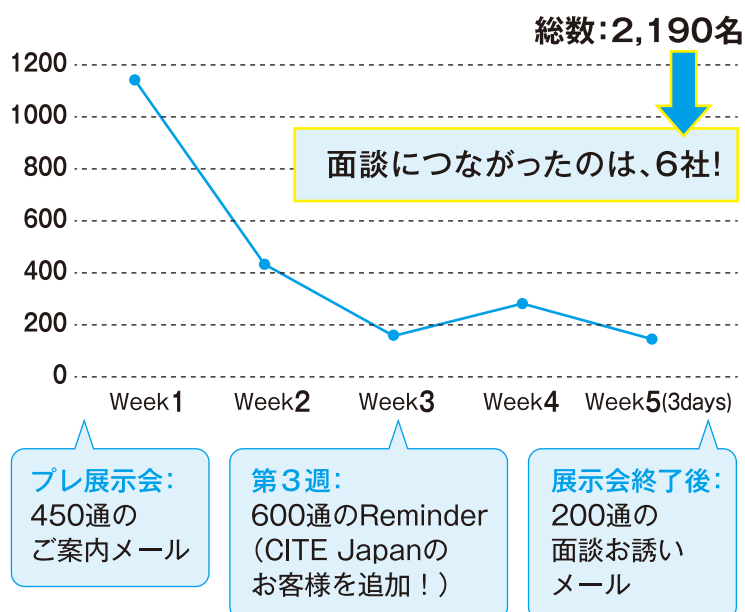
(データ分析:山田雄也)

データで語るケミマテ

■リアル展示会との比較 &
Web面談へのコンバージョン率

ケミカルマテリアル 2020-ONLINE-		CITE Japan 2019 (化粧品産業技術展)	
出展総費用	50万円	130万円	出展総費用
開催期間	1ヶ月	3日	開催期間
オンライン 来場者	2190名	300名	来場者
面談お誘い メール	187名	149名	名刺交換の メール
返信数	15社	27社	サンプル 依頼数
Web面談 実施	6社	4社	定期連絡先

■オンライン来場者の推移



ケミマテからの学びと 次の一手

(次に続かない学びは、学びではありません)

データが語る通り、出展経費50万円(人件費別)、2000名来場(半数が第一週に集中)から生まれた対面機会は、6件のWeb面談。これがクリーンヒットなのか、ピッチャーゴロなのか分かりませんが、打席での佇まいとスイングは、“様になってきたかも”という自己評価。

コンテンツイエイ症候群を克服し、(あたふたしながらも)コンテンツを活かすアクションを続けられた事は素晴らしかったし、コンテンツの組み方がまだまだ出展者目線だと気付けたのも大きな収穫。

対面機会にいかにつなげるかが肝なのは変わりませんが、まずは見てもらえるコンテンツを届けること。コンテンツっていうと構えがち、完成度・品質にこだわりがちですが、日々使ってるメールやLineだって誤字脱字ばかりだったりしませんか？

まるで、メールやLineを送信するように、サクッと動画作って送っちゃえば良いと思うのです。取引先さまも在宅勤務が進み、上司同僚部下と一緒にいない環境下で、シェア・転送しやすい動画は役に立つはずだし、何よりサクッと頭に入る。私の挨拶動画はさておいて(笑)、技術ディスカッションの叩き台、在宅勤務下での“考えるスイッチ”としても、可能性があると思います。何より、皆さんの好きなタイミングで見れちゃうのが最高だと思うのです。そう、お客様に都合に合わせて、コンテンツは24時間働いてくれるんです！

誰もが在宅勤務で結果を出す事を求められる時代、Web面談だって受け入れられたのだから、動画のハードルはもっと下がっていいはずだ!というのは、ケミマテからの学び。早速、大阪本社、東京支店に簡易スタジオ作りを指示。エクセル、パワポと同列で、動画もドンドン使って、皆さんのイノベーションのお手伝いをさせていただきます。

すでに導入済みの80インチのWeb会議用ディスプレイは、毛穴まで見えてしまいそうな画質。喋ってる人に自動フォーカスするカメラも便利です。よろしければ、暖かい格好で(かなり換気してますのでとても寒い。。。)、事務所にも遊びに来てください!



数字に現れないインパクト(重要!)

たくさんの方に、お電話やメールで、
“動画見たよー”というご連絡いただき、
営業一同大喜び!
投資対効果とか面談コンバージョン率とか
より、こういうのが一番嬉しくて。
ありがとうございました!

社内ゴルフコンペもリモートで： 平日ひとり5,000円切り!

ゴルフ大好き萩田から

弊社リモートコンペのレポートです。一言で言うと、分散型コンペ。一定期間内に指定コースを岡畑社員1組で回りスコアを提出すればOK! 社長からは平日ラウンド推奨とのお墨付き。期間終了後、本社駐車場でリアル表彰式(で盛り上がる予定でしたが、残念ながら今回はリモート結果発表)。

お取引メーカー様とのゴルフコンペも次々に中止され、当社伝統(今年は第69回)のゴルフコンペも中止を余儀なくされる中、当社ゴルフ部長安尾がリモート・コンペを企画! やってみて感じた、ベスト3&ワースト3を大発表! あくまでも萩田の主観で、所属する組織の見解を代表するものではありません(笑)

ベスト3

1位: 費用が格安:ひとり五千円札切り!

平日プレーフィーは言うまでも無く、今回は参加費もなし(賞品あり)、弊社ゴルフ部からのラウンド補助入れると、五千円札でお釣りが返ってきました♪

2位: 平日に堂々といける。

なんと言ってもこれがいいですね。でもうちの社員は意外と?まじめ。最初はみんな様子見でなかなか行きませんでしたし、結構多忙で実は思ったほど参加率は上がりず…

3位: リベンジあり。

期間中に途中経過報告あり、また複数ラウンド可と言う事で、リベンジラウンドしちゃいました。

ワースト3

1位: パーティーでのワイガヤ無し。

リアル表彰式もできず、ちょっと残念。

日頃の成果の発表場所ですので

ベテランvs若手の台頭とかが垣間見られる

リアル・タイムなパーティーがええなあ。

2位: 緊張感が味わえない。

コンペでたまにやってくる1組目。

大勢が見守る中でナイスショットでも

チョロでも大盛り上がり。

それから「〇ギリ」がないのも若干緊張感に

欠ける原因かと。

3位: 昼食時の腹の探り合い+お酒攻撃

これもコンペのお楽しみのひとつ。

そして順位にも結構影響したりしますので。

と言うわけで、今回初挑戦のリモートコンペのレポ、如何だったでしょうか？ゴルフ経験の浅い若手には参加のハードルが下がって良い面も多かった反面、コンペの醍醐味であるワイガヤで出来ない寂しさを感じたのも事実。やってみた今回の学びは…次回は平日にリアル開催ですな！！しゃちょ～よろしく願いしま～す。(萩田)

※弊社では、一人一回につき5,000円のラウンド補助金を支給しています。

■ 編集後記

We are the world !

(社内報Gazette2020年12月号より引用)

“We Are The World”——この曲をリアルに知っている方は、コロナ重症化リスクが高いと言われるおじさん、おばさんの世代でしょうか。

飢餓に苦しむアフリカを支援するためにライオネル・リッチーとマイケル・ジャクソンが共同制作し、1985年にリリースされました。スティーヴィー・ワンダー、クインシー・ジョーンズ、ダイアナ・ロス、シンディ・ローパーなど、数多くの人気アーティストがレコーディングに参加し、米ビルボード誌で4週連続1位を記録する大ヒットとなり、印税やグッズの売り上げはすべてアフリカの飢餓と貧困層解消のために寄付されました。その25年後、2010年1月12日に発生したハイチ地震による被災者支援のために“We Are The World 25 Years for Haiti”として再びリリースされました。

今年はこの曲がリリースされて35年目、貧困も飢餓も改善することはなく、難民も増え、さらにコロナ禍と自国第一主義により人種差別や格差による分断にも拍車がかかっています。そんな中で、現地時間2020年5月17日(日本では11月WOWOWで放送)、ライオネル・リッチーが審査員を務める人気オーディション番組『アメリカン・アイドル』のシーズン18 最終回で、出演者とアーティストたちがリモートで“We Are The World 2020”を披露し、「連帯」を呼びかけました。

日本では、8月、コロナや人種差別によって隔てられてしまった人と人との心の距離をリモートによってひとつにしようと高校生が企画したプロジェクト「世界中の10代で歌ってみた!」“We Are The World”- covered by Teenagers All Over The World(Project For Peace)がyou tubeで公開されました。桐蔭学園高校で模擬国連部の部長を務めている村石るいさんを中心に企画から伴奏、録音、編集まですべてを10代だけで行われたこのプロジェクトは大きな反響を呼び、世界各国から多くのティーンエイジャーが参加しました。村石さんは「この動画が、人類がかかえている様々な困難に対して、10代でもできることを考える一つのきっかけとなり、行動する勇気を与えることができたら幸いに思います」とその思いを語っています。

コロナ以外に何かあったかな〜と思う2020年も終わりに近づいています。ひょっとしたら「かけがえのない地球と人類の関係」を見直すための一年だったのかもしれませんが。2021年1月3日TV朝日でアニメ「天気の子」が放映されます。映画の終盤で主人公の少年が読む雑誌の中に一瞬現れる「アントロポセン(人新世)」という言葉。新海誠監督の地球温暖化、気候変動に対する強いメッセージを感じます。STAY HOME のお正月、お子さんと一緒にご覧いただき、感想を話し合ってみたらいかがでしょうか(私、アニメを観て泣いたのは初めてです!)

Covid-19が一日もはやく終息すること、罹患された皆様の一日も早い回復とともに亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。そして新しい年が皆様にとって良い年であることを願っています。1年間、投稿、ご愛読ありがとうございました。

プロジェクト「世界中の10代で歌ってみた!」アクセスしてみてください。感涙必至です!

https://www.youtube.com/watch?time_continue=17&v=gGcK5VyeElw&feature=emb_logo

(kiki)

ニュースレター バックナンバーはこちら

[LINK ▶ https://okahata.wixsite.com/oksite/onl](https://okahata.wixsite.com/oksite/onl)

岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2020年12月28日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2020.12.28 / Issue 008

© 2020 オカハタとアイデアと